

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究」を行っています。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2021年3月31日の間に、心室細動・心室頻拍・院外心停止で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究A）

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭武司

【研究の意義・目的】

日本では年間7～8千人の心室性不整脈による院外心停止が発生しています。院外心停止を減少させるためには、原因疾患や誘因を特定し、早期発見と治療を目指していく必要がありますが、特に50歳未満の若年者では、院外心停止や致死性不整脈の発生が高齢者に比べて少なく、原因疾患、治療内容、転帰に関しての全国規模の報告がありません。

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースを用いて、若年発症の院外心停止や致死性不整脈の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的としています。

【利用する診療情報】

以下の1)～3)の入院において、下記の診療情報を利用いたします。

1) 心室細動・心室頻拍・院外心停止 での入院

2) 退院後の再入院

3) 1)と同一年度の、1)以前の入院

入院時の年齢、性別、入退院年月日、退院時転帰、身長、体重、入院時の要介護度、低栄養の有無、病名、医療費、治療薬、治療内容

また、1)の入院と同一年度の外来通院記録も利用いたします。

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、匿名化されており、原則として個人を特定できない情報です。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定

できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司
電話 06-6170-1070